



Pack
10

Ferrari

250 GTO



Ferrari

250 GTO

組み立てガイド

STAGE 37	タイミングカバー	P.145
STAGE 38	タイミングカバー ②	P.149
STAGE 39	タイミングカバー ③	P.153
STAGE 40	ダイナモ	P.157



タイミングカバー

右側のシリンダーヘッドにスパークプラグリードを取り付け、タイミングカバーの組み立てを始めよう。

37-1



37-2



37-3



37-4

パーツリスト

37-1 タイミングカバー本体

37-2 三角保護板

37-3 ガスケット

37-4 マウント

ヒント ●ネジは穴に対して真っ直ぐに当てて締め込む。斜めに締めると、途中で締められなくなる場合がある。●金属製パーツのネジを締める際、途中で硬くなったならネジを緩め、削れて出たカスを取り除くと締めやすくなる。●ネジを締めにくい場合は、あらかじめ各パーツにネジを締めるかタップすることにより、ネジの溝を作っておくとよい。●ネジの先端に市販のミシンオイルなどを少量付けると締めやすくなるので試してみよう。●プラスチック製パーツにネジを締める場合は、締め過ぎるとパーツが割れたり、ネジの溝が崩れて締まらなくなる場合がある。パーツ同士がある程度固定されたら、締めるのをやめる。●パーツが外れやすい場合は、酢酸ビニル系が合成ゴム系の接着剤を使うとよい。瞬間接着剤は、乾燥すると周囲が白くなる(白化する)ことがあるので注意しよう。

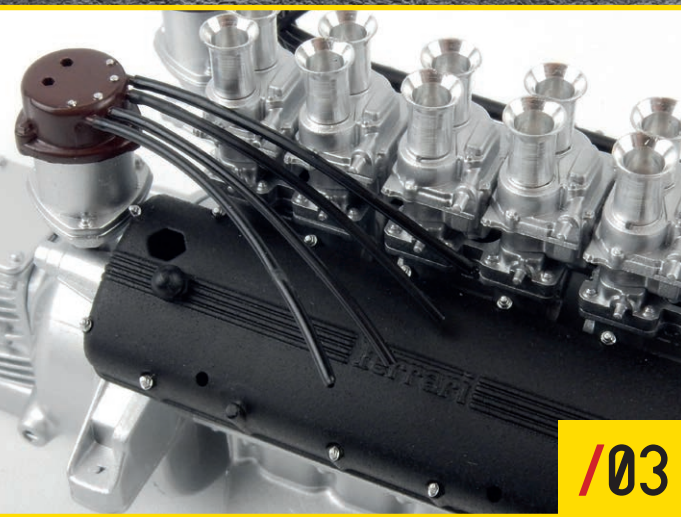
/01



右側のシリンダーヘッド用のリードコネクタと、**STAGE06** で残った36-3(ショートリード)6本を用意する。リードの片方の端を、側面に5本、端に1本、それぞれリードコネクタのスタッドに差し込む。

STAGE09 で受け取った2つ目の19-4(ディストリビューターキャップコネクタ)と**STAGE06** の36-4(ロングリード)2本を用意する。コネクタにある2つのスタッドにリードを差し込む。

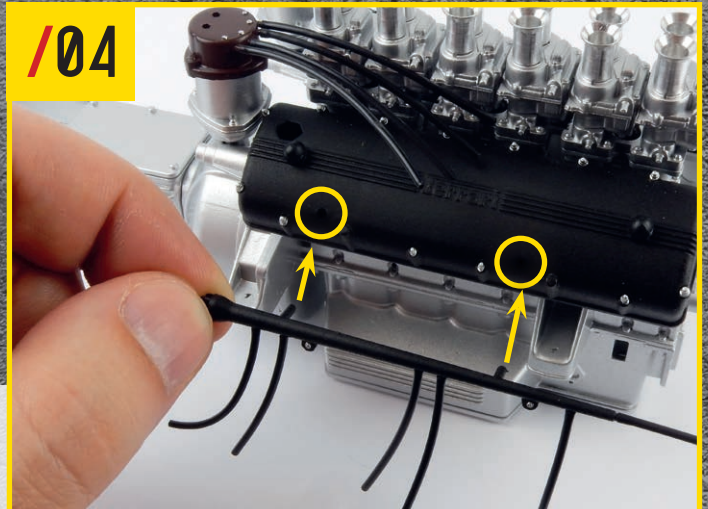
/02



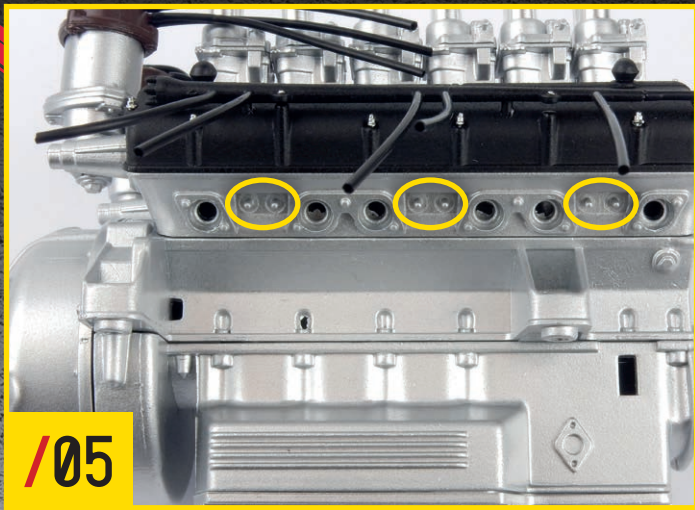
エンジンを用意する。残り4本の36-4(ロングリード)を右側のディストリビューターキャップのスタッドに差し込む。

/03

/04

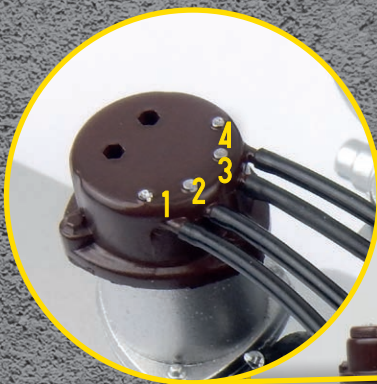


写真のように、2つのスタッドを空いている穴に差し込み、リードコネクタを右側のシリンダーヘッドに取り付ける。

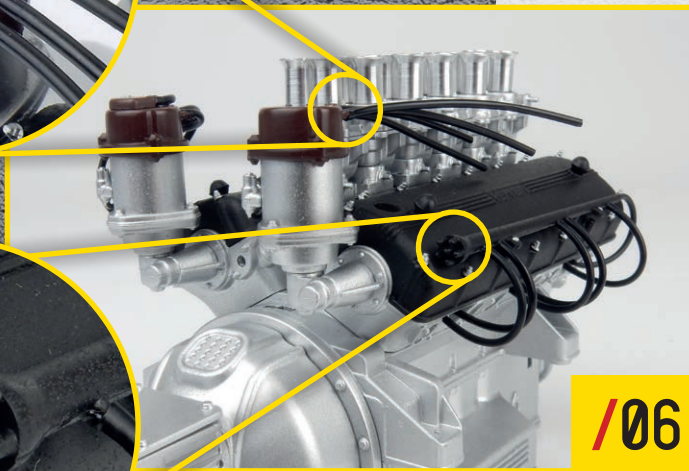


/05

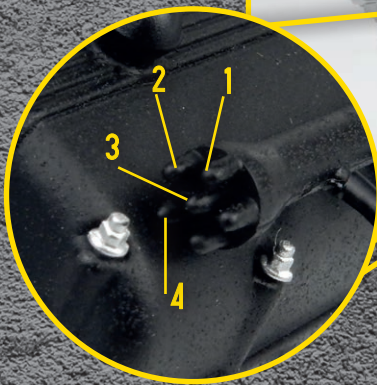
(ピンセットを使用して)ショートリードのもう一方の端を、写真のように、エンジンブロックのスタッドに差し込む。



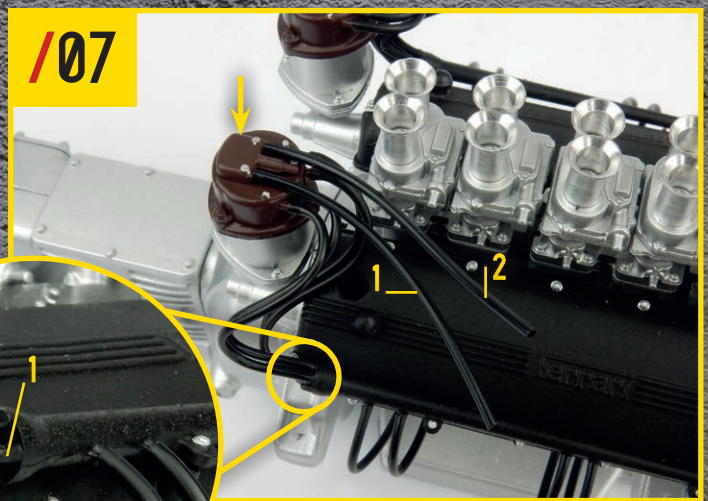
ディストリビューターキャップから出ているロングリード4本をリードコネクタの端にあるスタッドに差し込む。位置を間違えないように、写真に示した黄色の数字の順に差し込んでいこう。



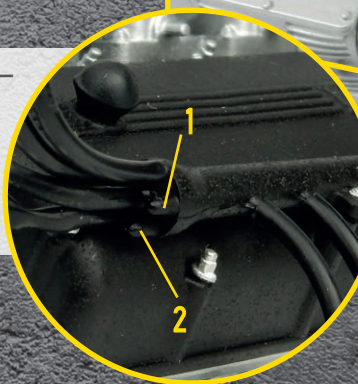
/06



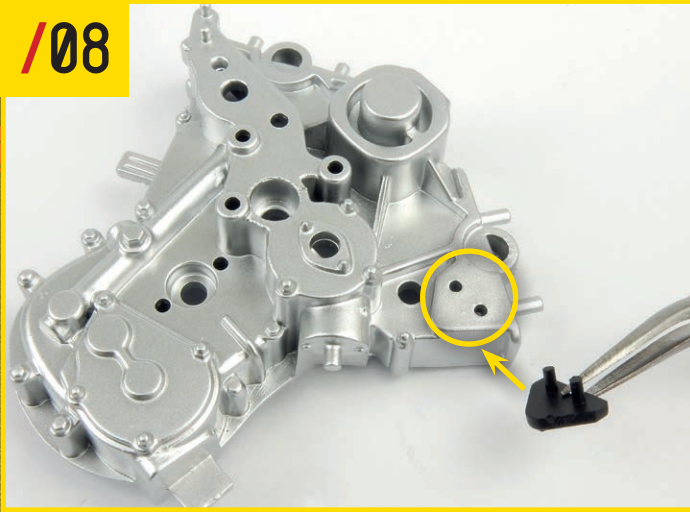
(37-02で2本のリードを付けた)ディストリビューターキャップコネクタを左側のディストリビューターキャップに付ける。写真に示した黄色の数字の順に、リードコネクタにある残り2つのスタッドにリード2本の一方向の端を差し込む。



/07

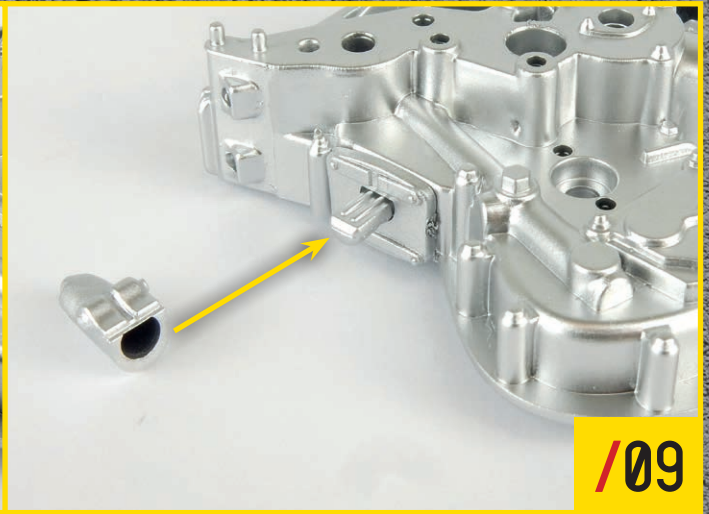
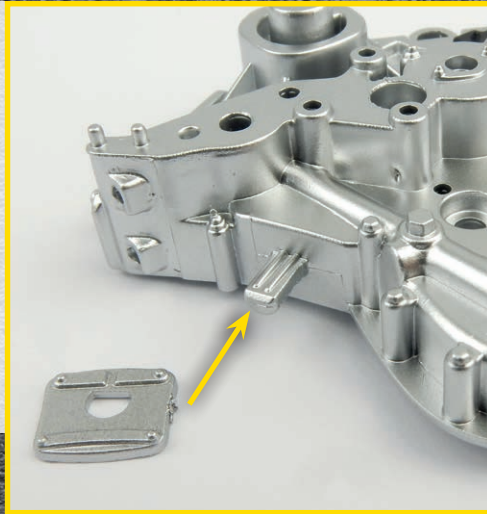


/08

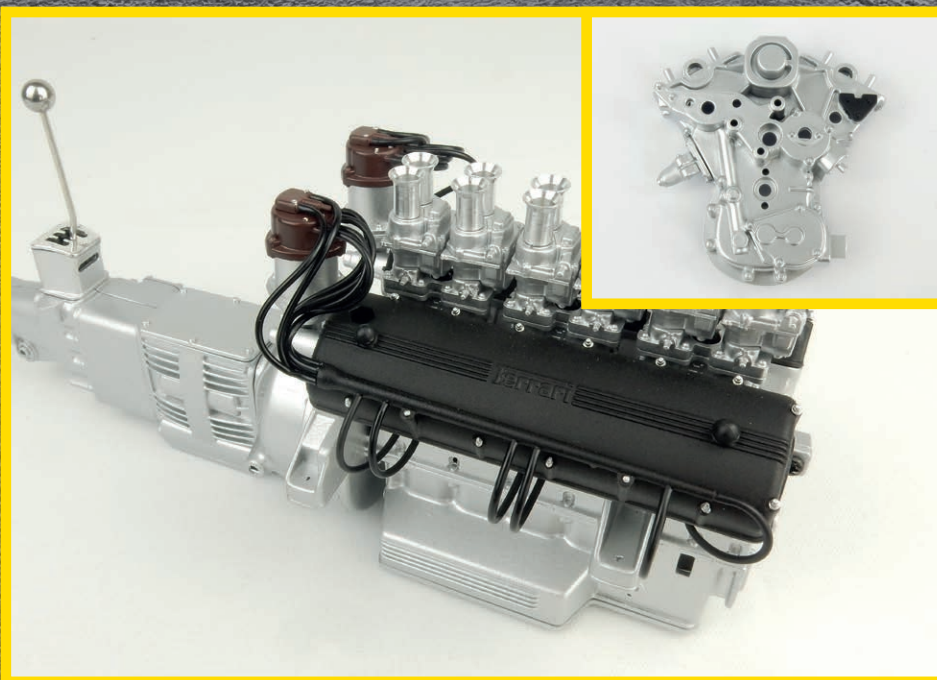


37-1(タイミングカバー本体)の2つの穴に37-2(三角保護板)をはめ込む。

37-3(ガスケット)と37-4(マウント)をタイミングカバーボディのサイドスタッドに取り付ける。写真をよく見て向きを合わせよう。



/09



STAGE 07 の完成
エンジンとタイミングカバーがここまで仕上がった。

タイミングカバー ②

タイミングカバー本体にさらにパーツを取り付けていく。



パーツリスト

- 38-1 タイミングカバー本体の上部
- 38-2 ファンマウント
- 38-3 右カバーディスク
- 38-4 左カバーディスク

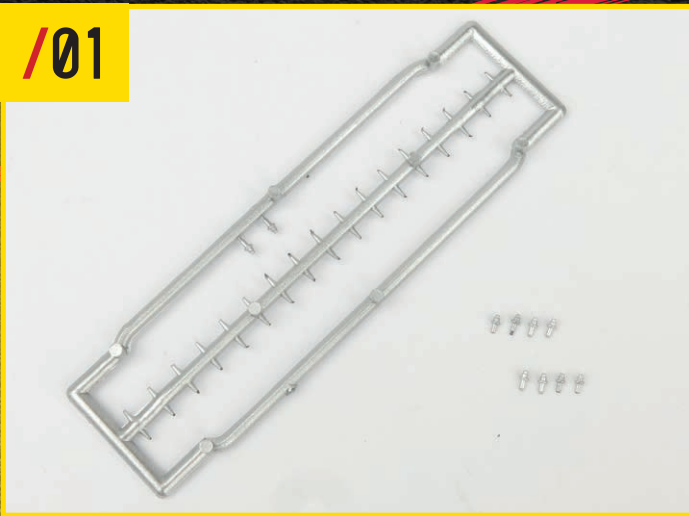
ネジ類

- ネジB (P2.3×5mm) ×2本 (1本は予備)

ヒント ●ネジは穴に対して真っ直ぐに当てて締め込む。斜めに締めると、途中で締められなくなる場合がある。●金属製パーツのネジを締める際、途中で硬くなったならネジを緩め、削れて出たカスを取り除くと締めやすくなる。●ネジを締めにくい場合は、あらかじめ各パーツにネジを締めるかタップすることにより、ネジの溝を作っておくとよい。●ネジの先端に市販のミシンオイルなどを少量付けると締めやすくなるので試してみよう。●プラスチック製パーツにネジを締める場合は、締め過ぎるとパーツが割れたり、ネジの溝が崩れて締まらなくなる場合がある。パーツ同士がある程度固定されたら、締めるのをやめる。●パーツが外れやすい場合は、酢酸ビニル系が合成ゴム系の接着剤を使うとよい。瞬間接着剤は、乾燥すると周囲が白くなる(白化する)ことがあるので注意しよう。

STAGE 38

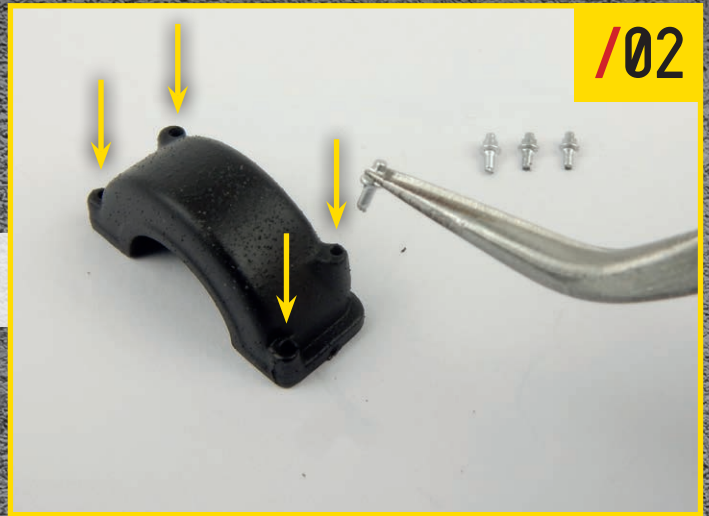
/01



38-1 (タイミングカバー本体の上部)にある穴にボルトを挿入する。

STAGE 38 で受け取った 8-2 (ヘッドカバーナット) を用意する。
STAGE 35 での作業のあとに残ったボルトを使う。カッターナイフなどを使用して、ボルトを 8 本切り出そう。紛失しないように注意。

/02

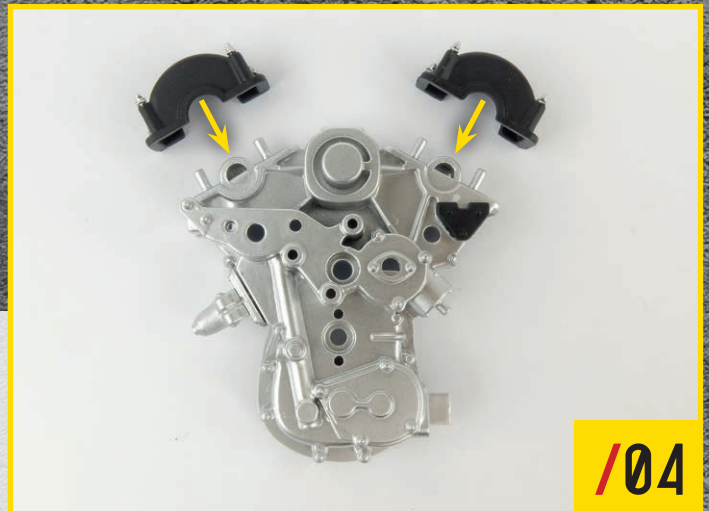


/03



写真を注意深く見て、次の 38-04 でそれぞれが正しい方向を向くように確認しておく。前部のボルト (黄色の円) は、後部のボルト (赤い円) よりも高い位置にある。

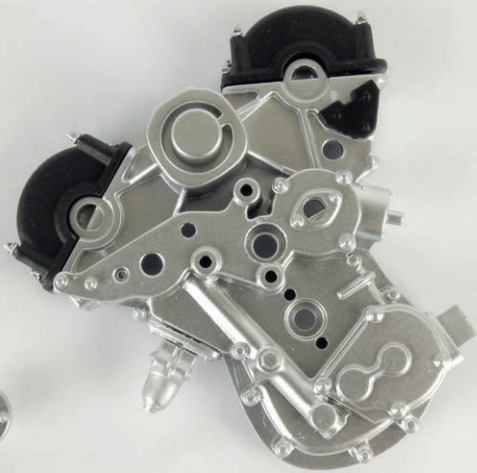
STAGE 37 で組み立てたタイミングカバー本体を用意し、2つの上部部品を取り付ける。写真のように、向きを合わせ、フロントボルトをタイミングカバー本体の上部に合わせる。



/04

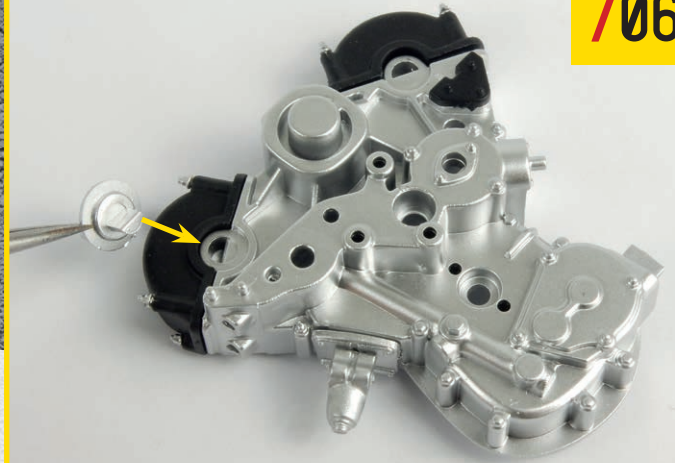


/05



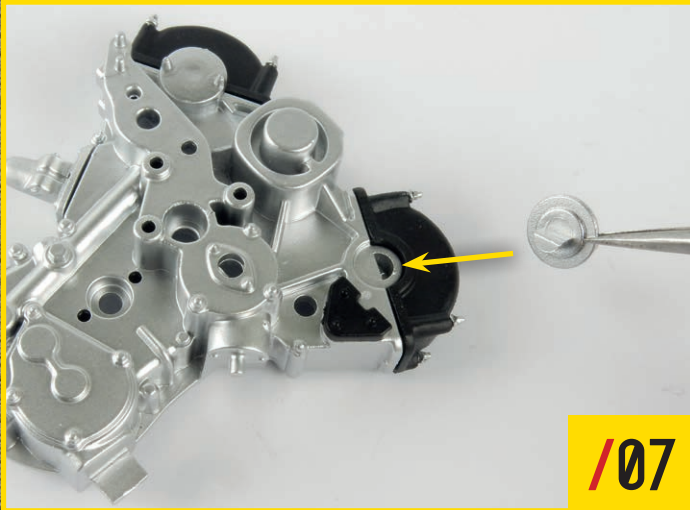
38-3(右カバーディスク)を用意する。38-4(左カバーディスク)と混同しないように注意しよう。2つのディスクの表面はそれぞれ異なる。

/06



写真のように、38-3(右カバーディスク)をタイミングカバー本体の穴にはめ込む。

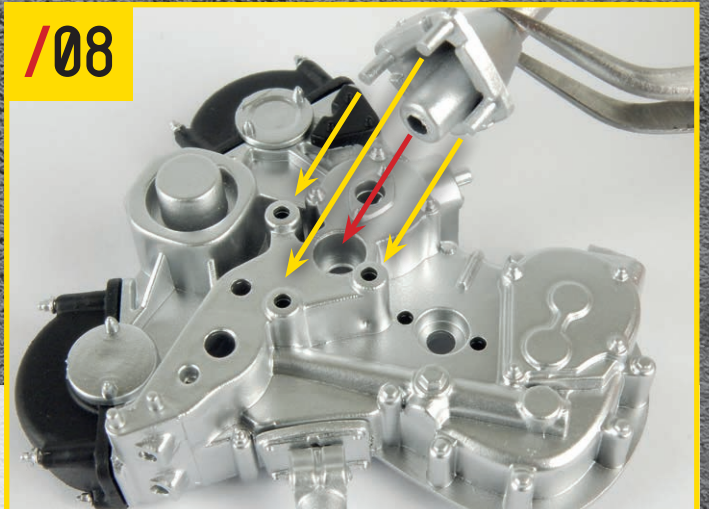
38-4(左カバーディスク)を写真のようにはめ込む。



/07

写真に示した矢印とパーツの形状をよく見て、38-2(ファンマウント)をタイミングカバー本体中央の穴にはめ込む。

/08





/09



タイミングカバーを裏返し、ファンマウントをネジB ネジで固定する。



STAGE 08 の完成

今回の組み立てで、タイミングカバーがここまで仕上がった。

タイミングカバー ③

タイミングカバー本体に、さらにパーツを加えていく。

ネジD×2



39-1



39-2



39-3



39-4



39-5



39-6



39-7



パーツリスト

39-1 プーリー パーツ A

39-2 プーリー パーツ B

39-3 ウォーターポンプ

39-4 燃料ポンプ 下部

39-5 燃料ポンプ 中央部

39-6 燃料ポンプ 上部

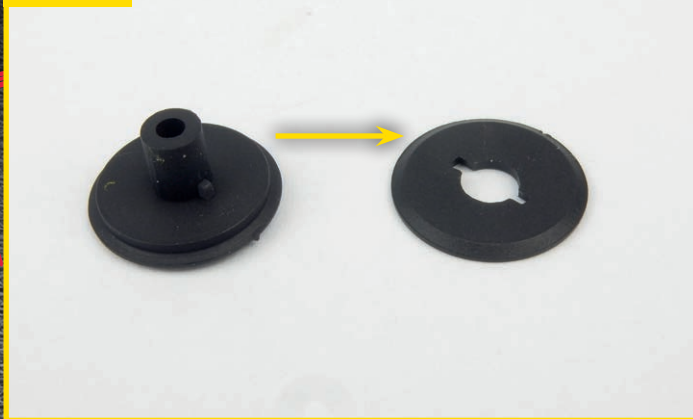
39-7 ウォーターポンプホース

ネジ類

ネジD (P2.3×5mm) ×2本
(1本は予備)

ヒント ●ネジは穴に対して真っ直ぐに当てて締め込む。斜めに締めると、途中で締められなくなる場合がある。●金属製パーツのネジを締める際、途中で硬くなったならネジを緩め、削れて出たカスを取り除くと締めやすくなる。●ネジを締めにくい場合は、あらかじめ各パーツにネジを締めるかタップすることにより、ネジの溝を作っておくとよい。●ネジの先端に市販のミシンオイルなどを少量付けると締めやすくなるので試してみよう。●プラスチック製パーツにネジを締める場合は、締め過ぎるとパーツが割れたり、ネジの溝が崩れて締まらなくなる場合がある。パーツ同士がある程度固定されたら、締めるのをやめる。●パーツが外れやすい場合は、酢酸ビニル系が合成ゴム系の接着剤を使うとよい。瞬間接着剤は、乾燥すると周囲が白くなる(白化する)ことがあるので注意しよう。

/01



39-1(プーリー パーツA)と39-2(プーリー パーツB:台形で広い面が底面)を合体させる。各パーツの形状は写真で確かめておこう。

写真のように、パーツが正しくはまっていることを確認する。

/02



プーリーを39-3(ウォーターポンプ)に取り付ける。

/03



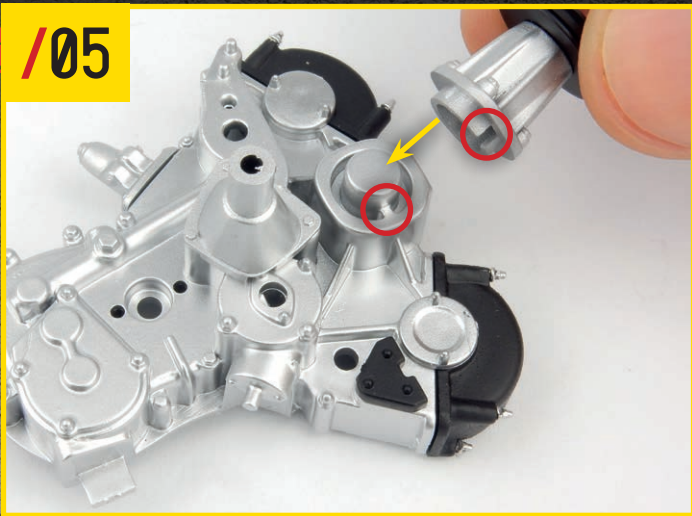
裏返して、ネジDで固定する。

/04





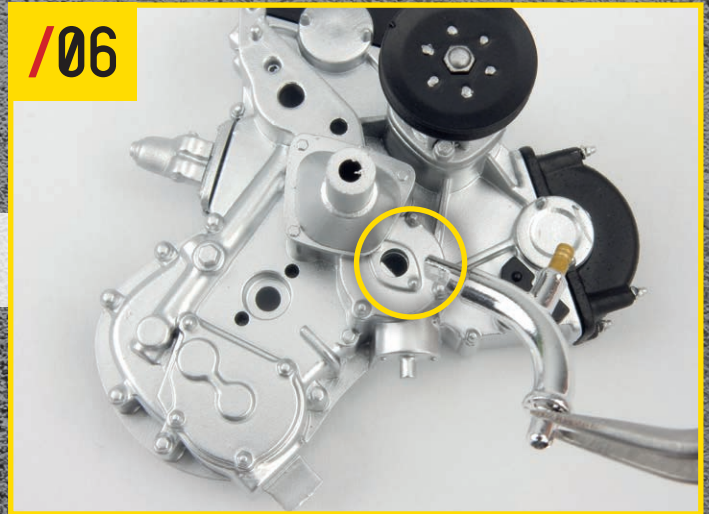
/05



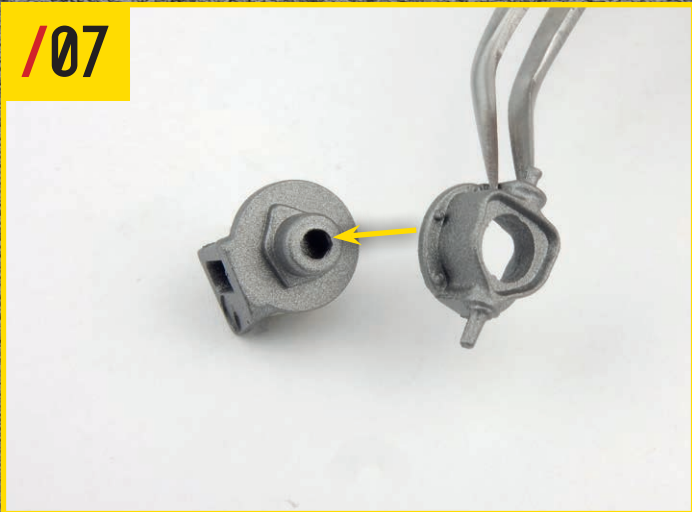
STAGE 03 で組み立てたタイミングカバーを用意し、ウォーターポンプを取り付ける。写真をよく見て、パーツが正しくかみ合っているかを確認する。

39-7(ウォーターポンプホース)をタイミングカバー本体に合わせる。

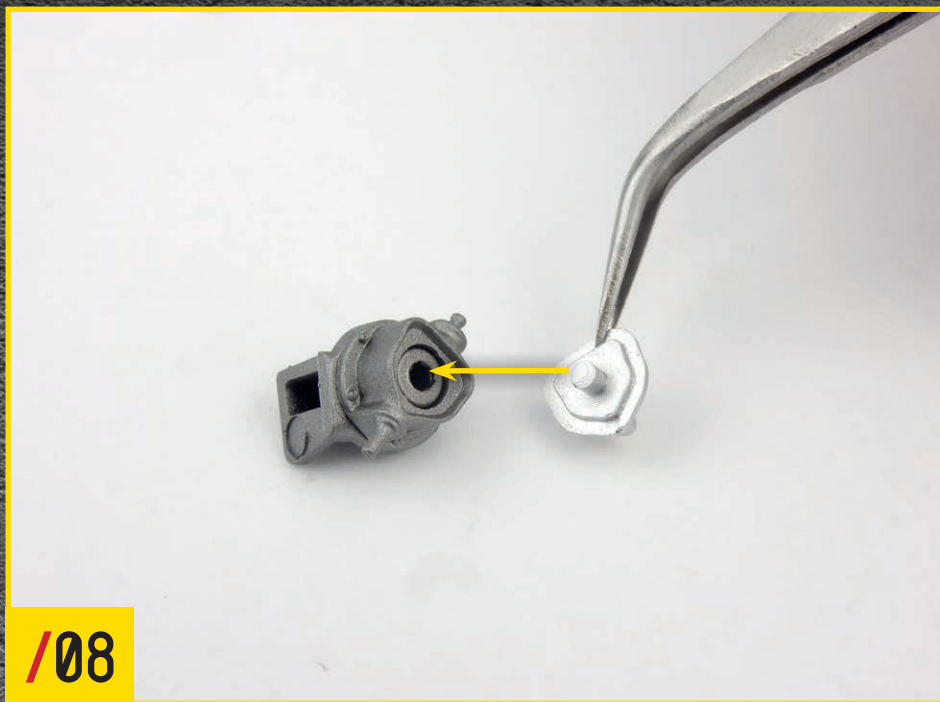
/06



/07

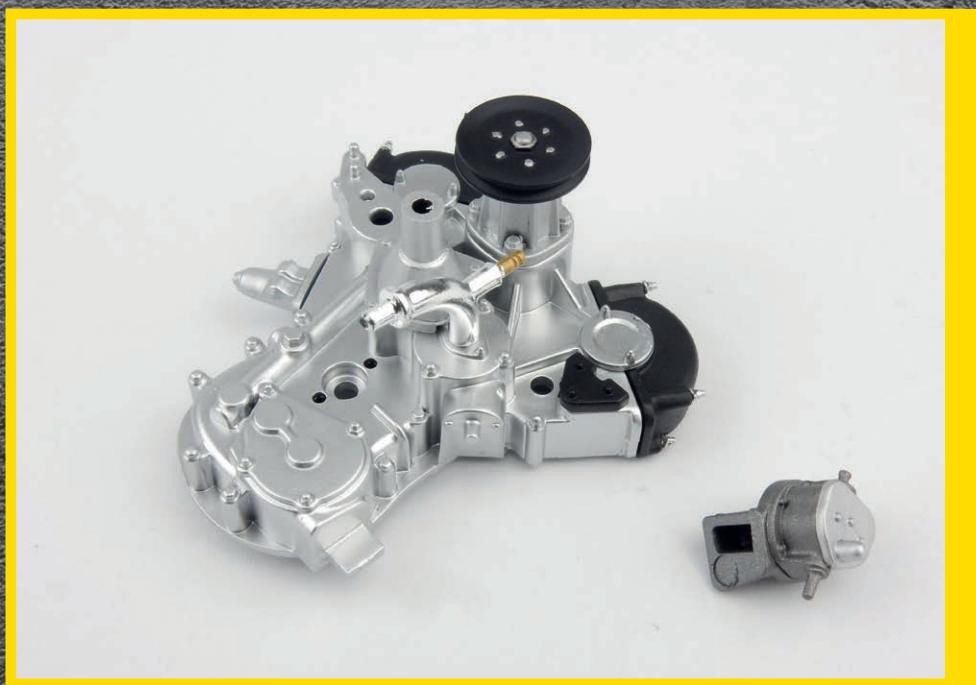


39-5(燃料ポンプ 中央部)を写真のように39-4(燃料ポンプ下部)に取り付ける。



/08

燃料ポンプの上部に39-6(燃料ポンプ上部)を取り付ける。



STAGE 39 の完成

今回の組み立てで仕上がったタイミングカバー。横にあるのが燃料ポンプ。これは後でエンジンに取り付けていく。

ダイナモ

ダイナモを組み立てる。組み立てた後は、他のパーツとともに大切に保管しておこう。



パーツリスト

- 40-1 プーリー パーツ A
- 40-2 プーリー パーツ B
- 40-3 プーリーサポート A
- 40-4 プーリーサポート B

- 40-5 ダイナモ本体
- 40-6 ダイナモ本体ベース
- 40-7 ダイナモアーム
- 40-8 ダイナモブラケット

ネジ類

ネジE (P2.3×5mm) ×2本
(1本は予備)

ヒント ●ネジは穴に対して真っ直ぐに当てて締め込む。斜めに締めると、途中で締められなくなる場合がある。●金属製パーツのネジを締める際、途中で硬くなったならネジを緩め、削れて出たカスを取り除くと締めやすくなる。●ネジを締めにくい場合は、あらかじめ各パーツにネジを締めるかタップすることにより、ネジの溝を作っておくとよい。●ネジの先端に市販のミシンオイルなどを少量付けると締めやすくなるので試してみよう。●プラスチック製パーツにネジを締める場合は、締め過ぎるとパーツが割れたり、ネジの溝が崩れて締まらなくなる場合がある。パーツ同士が一定程度固定されたら、締めるのをやめる。●パーツが外れやすい場合は、酢酸ビニル系が合成ゴム系の接着剤を使うとよい。瞬間接着剤は、乾燥すると周囲が白くなる(白化する)ことがあるので注意しよう。

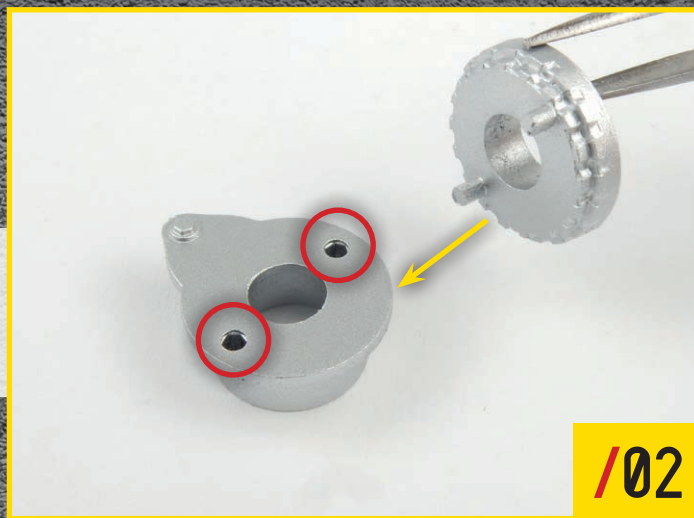
/01



40-1(プーリー パーツA)と40-2(プーリー パーツB)を合体する。写真のように、正しく配合させる。

写真のように、40-4(プーリーサポート B) を40-3(プーリーサポート A)のスタッドに合わせ、2つのパーツを合体させる。

/02



プーリーのスタッドをサポートの穴に挿入し、2つの部品を合わせる。

/03



ネジE ネジで固定する。

/04





/05



40-5 (ダイナモ本体) に 40-6 (ダイナモ本体ベース) を付ける。

ダイナモ本体を裏返し、組み立てたプーリーをはめ込む。ぴったりとかみ合うはずだ。

/06



写真の赤い円で示した 40-7 (ダイナモアーム) の端をダイナモ本体の黄色い円で示した穴に挿入し、アームをダイナモ本体に取り付ける。

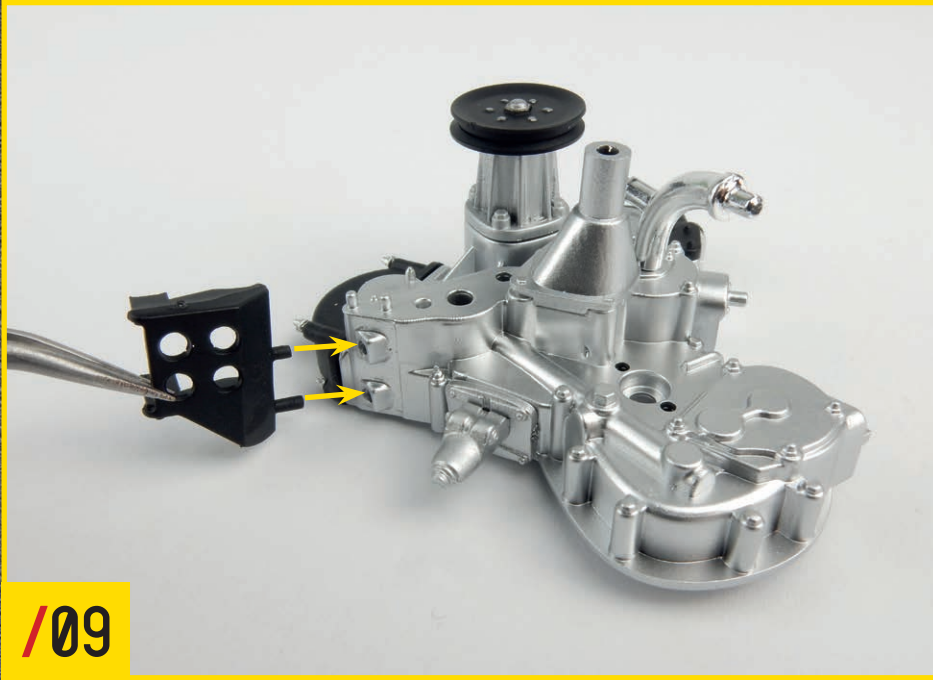
/07



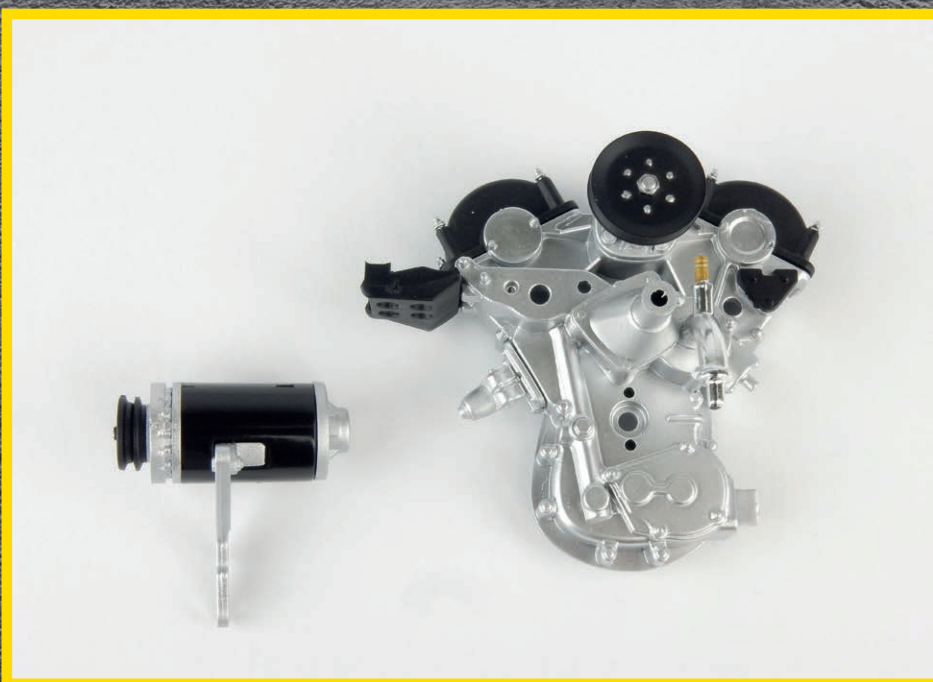
アームがダイナモ本体に正しく取り付けられた。

/08





STAGE 39 で組み立てたタイミングカバー本体に40-8(ダイナモ Bracket)をはめ込む。写真で向きを確認しよう。



STAGE 40 の完成
ここまで仕上がったダイナモとタイミングカバー。